石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

平成16年度石桜同窓会　開催

新たに賛助会費制度　提案可決される

平成16年度の石桜同窓会通常総会は、10月15日(金)午後6時から盛岡市駅前通のホテルメトロポリタン盛岡本館で開催された。

総会にはおよそ60名が出席、会務報告、決算、予算案が審議され、原案通り可決した。

今通常総会で、特筆されるのは新たに同窓会賛助会費制度が提案され可決されたことである。

総会は事務局の川村康二先生(新24回)の司会で開会、村上照五郎(新2回)会長が登壇して挨拶した。

次いで来賓の岩手奨学会理事の遠藤貫中元校長(旧1回)は母校は明後年創立80周年を迎え、社会に役立つ卒業生の輩出は1万2千人に及ぶ。かつて紫波町の城山に学校林として植えた桜の樹は岩手公園の桜をはるかに上回る1000本。昭和3年の陸軍大演習の際天皇陛下の学校へのご来臨、さらには昭和2年に岩手山頂に運んで建てた「皇風永扇」の石碑など、校風隆昌を祈願した思い出を語った。

議長席には長谷川哲吾(新13回)氏が着席、

(一)会務報告
(二)一般会計決算報告及び特別会計決算報告
(三)クラブ強化育成基金報告
(四)監査報告
(五)平成17年度事業計画案審議
(六)平成17年度一般会計予算案及び特別会計予算案審議

が行われ、次に

(七)石桜同窓会賛助金制度が新たに上程可決された(後述)。また、
(八)石桜歌詞懇話会も発足したことが報告された(後述)。

続いて別室での懇親会は約80名の出席者でにぎわい、村上会長の挨拶のあと、菊地治雄(新10回)校長は、クラブの活躍ぶり、新卒の進路状況等を報告。新たに発足を承認された石桜同窓会賛助会費制度にも期待したいと感謝の弁を述べた。

総会で活発な意見交換

常任理事会、理事会を経て総会上程された石桜同窓会賛助会費制度

すでに昨年の石桜同窓会総会で、村上会長から少子化による生徒数の減少から同窓会の財政状況の懸念の話があり、その対策を常任理事会、理事会で検討。ようやく意見の集約を見て、この程審議可決したものが次に掲げるものである。

明後2006年は母校80周年にも当るところから、然るべき記念事業の一助としても支援が期待されるところである。

石桜歌詞懇話会も発会

去る9月28日、盛岡市「きのえね」で石桜歌詞懇話会有志が会合したが、このことが本年度同窓会総会でも報告された。

その趣旨は後述の通りで、近津義一氏(新5回東京石桜会会長)が有志代表として呼びかけ、世話人横田英司氏(新11回仙台石桜会事務局)の肝入で神戸、東京、仙台から有志が参集。その熱意のほどが十分察せられる会となった。

席上満場一致で参集者の一番の先輩大坪幸平氏(旧17回)が会長となり、横田英司氏が事務局長として今後運営されることとなった。

今年の懇親会運営は新4、14、24回の手で

懇親会運営はかつて東京支部総会懇親会が年次を縦断してのお世話役が成功した例にならって始められたが、今年もこれまで出席しなかった年次の新しい顔ぶれの出席も多く、活性化に効果があった。

乾杯も今年度幹事役を代表して北田昭三氏(新4回)が発声、学校紹介のビデオ上映に続いて、幹事役年次の城千隼氏(新制中学2回)が仙台から駆けつけて、シャンソン他の歌を披露して好評だった。

多数の参会者の懇親会

また、次年度総会の懇親会幹事を代表して新5回生の村上昇氏が挨拶。恒例の校歌は中村一氏(新19回)の発声で一同元気に歌い上げ閉会した。

輝ける古稀の同窓生

石桜同窓会会長　村上　照五郎

石桜同窓会はこれまで、母校に対し、石桜会補助金、中型バス2台の寄贈、クラブ強化育成基金などの支援を行って参りました。しかし、近年の少子化による生徒数減により、これまでの卒業時終身会費だけではその財源の確保が難しくなってきたことはご承知の通りであります。また、明後2006年は、母校創立80周年を迎えることもあり、財源の確保は急務となっておりました。

そこで、新たに発足いたしましたのが、別掲のものであります。この制度について、今回の会報にて同窓生の皆様にご報告し、大いに宣伝するつもりでおりましたところ、新5回生の方々がいち早くご賛同の意を表されました。承ったところ、総会に出席された理事や、その他の方々から情報を得て早速行動を起こされたとのことで、誠にありがたいことだと感謝いたしております。

この新5回生の方々は今年、古稀をお迎えになり、かねてより手がけておられた記念誌「玉響乃青春」をこのほど完成させ、同期の皆様から募金をつのり、石桜フェロー賞団体の部第一号となりました。このご披露をかねて、11月22日につなぎ温泉のホテルにて新5回生学年会が開催されました。恩師お二人とその奥様がご招待され、私も参加いたしました。厳粛なお祓いの後、石桜フェロー賞の授与が行われ、その後の懇親会では岩中・岩高時代にタイムスリップして楽しいひとときを過ごさせていただき、母校愛に燃える古稀の同窓生の石桜精神を痛感いたしました。

まだまだ、このようなすばらしい同窓生はたくさんいらっしゃると思っております。重ね重ね、この度の賛助会費制度にご協力をお願いいたしまして、ご挨拶に代えたいと思います。

石桜同窓会賛助会費制度について

今、地方の財政的自立が求められる中、一方で教育の危機が叫ばれております。私学建学の精神のもと、良い校風の継承による母校岩手中・高等学校の力強い発展が今こそ大切なときではないでしょうか。

石桜同窓会は、これまでも卒業生の絆を強めるとともに、在校生の生徒会活動の活発化に向けて、有形無形の支援を行ってきました。しかし、その運営は、近年の少子化による生徒数の減少により、卒業時における終身会費の納入によるのみでは、早晩困難が予測されます。

よって、同窓会活動の基盤を強固なものにするため、このたび石桜同窓会賛助会費制度を新設することといたしました。

石桜同窓会賛助会費制度

一、一口二、〇〇〇円として同窓生から賛助会費を募る

二、一回の醵金が一〇〇口の場合及び暦年累積一〇〇口に及んだ場合は石桜同窓会賛助フェローとして石桜同窓会長より石桜フェロー賞を贈呈する

(a)毎年末発行の石桜同窓会報を会員に送付の際、送金用振込用紙を同封する

(b)種々の同窓生の会合の機会において醵金を募る

石桜歌詞懇話会　発意書

土井晩翠・山田耕筰作になる石桜校歌が誕生して七十有余年。昭和六年には初めての第一応援歌(白井文光作詞・作曲者不明)、昭和十二年に第二応援歌(作詞者不明・高橋清右衛門作曲)、更には昭和十三年に第三応援歌(北住敏夫作詞・高橋清右衛門作曲)が作られるなど校運隆昌の下、夫々歌い継がれている。

明後年には愈々母校創立八十年の佳節を迎える。この母校が香しい校風と良き伝統を継承して行くことは、同窓の斉しく希求するところであり、且つ又義務でもある。

我ら有志は、この度その実践活動の一環として、石桜歌詞懇話会を結成し、正統なる歌詞・原曲を追究すべく発意した。

作詞・作曲者に敬意を払い、精確なる歌詞・曲伝承が本会の本旨であり、人為的誤謬を正さんとするものに外ならない。真に「過則勿憚改」こそ肝要と思料する所以である。

平成十六年九月吉日

石桜歌詞懇話会　有志　代　表　大坪幸平
事務局長　横田英司

平成15年度　会務報告

(1) 平成15年9月19日(金)　会計監査(きのえね支店)
(2) 平成15年9月26日(金)　理事会(きのえね支店)
　総会議案審議
(3) 平成15年10月17日(金)　総会(ホテルメトロポリタン盛岡)
(4) 平成15年12月12日(金)　会報28号発行
(5) 平成16年1月28日(水)　役員会(きのえね支店)
　会費徴収について
(6) 平成16年8月24日(火)　常任理事会(きのえね支店)
(7) 平成16年9月14日(火)　会計監査(きのえね支店)
(8) 平成16年9月21日(火)　理事会(きのえね支店)
　総会議案審議
(9) 平成16年10月15日(金)　総会(ホテルメトロポリタン盛岡)

平成16年度　事業計画

1．指針
母校の繁栄に大いに寄与できる基盤を整える。

2．事業計画
(1) 母校クラブ活動を積極的に支援する。
　(クラブ強化育成基金の適切な活用)
(2) 会員相互の親睦交流を図る。
　(支部、地区会、クラス会等の節目を重視した集会を盛んにする)
(3) 本部と支部・地区会等の連携を図る。
　(相互に情報を提供する)

平成16年度予算

I　一般会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成15年度予算額
会費	1,134,000	1,316,000
入会金	810,000	940,000
総会会券代	350,000	420,000
利子	4	7
雑収入	219,565	170,220
繰越金	244,431	7,173
借入金	600,000	0
合計	3,358,000	2,853,400

支出の部

科目	本年度予算額	平成15年度予算額
会議費	700,000	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	470,000	493,000
慶弔費	30,000	96,000
通信費	610,000	604,000
事務費	5,000	10,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	450,000	300,000
特別会計編入	100,000	100,000
返戻金	600,000	0
予備費	83,000	240,400
合計	3,358,000	2,853,400

II　特別会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成15年度予算額
一般会計より編入	100,000	100,000
利子	5	15
返戻金	600,000	0
繰越金	838,738	738,735
クラブ強化育成基金	0	0
寄付金	0	0
合計	1,538,743	838,750

支出の部

科目	本年度予算額	平成15年度予算額
一般会計へ	600,000	0
名簿印刷	0	0
返戻金	0	0
合計	600,000	0

平成15年度決算報告書

I　一般会計

収入の部

科目	決算額	平成15年度予算額
会費	1,309,000	1,316,000
入会金	935,000	940,000
総会会券代	402,000	420,000
利子	4	7
雑収入	219,880	170,220
繰越金	7,173	7,173
借入金	600,000	0
合計	3,473,057	2,853,400

支出の部

科目	決算額	平成15年度予算額
会議費	681,725	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	462,075	493,000
慶弔費	25,617	96,000
通信費	606,220	604,000
事務費	3,447	10,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	439,542	300,000
特別会計編入	100,000	100,000
返戻金	600,000	0
予備費	0	240,400
合計	3,228,626	2,853,400

II　特別会計

収入の部

科目	決算額	平成15年度予算額
一般会計より編入	100,000	100,000
利子	3	15
返戻金	600,000	0
繰越金	738,735	738,735
クラブ強化育成基金	0	0
寄付金	0	0
合計	1,438,738	838,750

支出の部

科目	決算額	平成15年度予算額
一般会計へ	600,000	0
名簿印刷	0	0
返戻金	0	0
合計	600,000	0

支部だより

東京石桜同窓会

新入会員歓迎会を開催

6月12日(土)都内青山のダイヤモンドホールで恒例の新入会員歓迎会がもたれ、新入会員5名を12名の会員が囲んで歓迎した。

新入会員を歓迎の東京石桜会

東京石桜同窓会も

東京石桜同窓会（近津義一会長）は去る10月23日、東京・青山のダイヤモンドホールに、在京同窓生など50数名を集めて平成16年度、第22回「東京石桜同窓会のつどい」を開催した。

今年の「つどい」は若くして脳卒中に倒れその後懸命なリハビリの結果、見事社会復帰を果たした伊藤立美氏（新12回生）の感動的な講演で始まった。周囲関係者のご好意や、石割桜に象徴される石桜精神が大きな心の支えになったと強調された。

総会・懇親の部では先ず近津会長が挨拶、新卒者歓迎会を母校との共催で開催したことを報告、今後もねばり強く続けることを確認、それが会運営の盛況につながることになるからであると結んだ。

次いで遠路臨席された菊地治雄校長から母校の各部についての活動状況のご報告がなされた。マスコミ的に注目度の高い分野ではいまひとつの感もあったが、しかし、それぞれ後輩の皆さんが必死の思いで活躍され、好成果を上げている様子を理解させていただいた。

懇親の場での石桜会会長・村上照五郎氏の講演では、軽妙な語りの中に母校の長くそして輝かしい歴史を再認識、また数々のエピソードの中にも初めて知ったことも沢山あり、楽しく聞かせていただいた。

最後は恒例になっている、全員での校歌斉唱。

次会の元気での再会を約束してなごやかなうちに閉会となった。

（鎌田耕一郎・新8回）

50数名の第22回東京石桜会

盛岡中央卸売市場水産物部会石桜同窓会

7月10日(土)、石石桜同窓会は盛岡市菜園「三寿司総本店」で開催、村上照五郎会長と足沢至旧教職員が出席した。

仙台石桜同窓会

第8回仙台石桜同窓会開催

第8回仙台石桜同窓会は去る8月28日(土)午後6時より仙台市榴岡「仙台ガーデンパレス」において開催された。

今回は菊地治雄校長、本部からは小枝指博副会長に出席頂いた。

小林陵二会長の開会挨拶、菊地校長の母校近況報告、事務局より会務及び会計報告、監査報告と新監査役の紹介があり、話題提供として畑谷守良氏（新5回）による「中学・高校時代に聴いた歌、歌った歌」が披露された。以上の総会次第が進行し、全員の記念撮影の後、懇親会へと移る。

小枝指副会長の挨拶、乾杯の発声により懇親の宴が始まり、懇談の合間には交互指名による全員の自己紹介。宴たけなわの中にも恒例の校歌斉唱を以って来年の再会を期し、8時30分お開きとなった。

尚、今次総会において千葉主計監事（旧11回）の辞任に伴う後任監事として里見一栄氏（新13回）が承認された。又、前出の畑谷氏のスピーチは母校旧師の生内義夫先生の作品集に関するテーマであり、長期に亘る調査と佐川隆二氏（新6回）をはじめとする諸氏の協力によりCD化もなされた極めて貴重なものである。それらの資料は既に母校に寄贈され保管されているので、是非視聴されることをお勧めしたい。

（横田英司・新15回）

仙台石桜会

日本大学石桜会

平成16年度の同会総会は、11月16日(火)午後6時30分より盛岡市八幡町「初駒」で開催され、田鎖康誠会長以下が集った。

県歯科医師石桜会

岩手医大石桜会

小豆島正典氏（新23回生）岩手医大歯学部歯科放射線学講座教授に就任

11月25日(木)ホテルニューカリーナで岩手県歯科医師石桜会と医大石桜会は合同で小豆島正典氏の就任祝賀会を開催し、村上照五郎同窓会長も来賓として招かれ参会した。

クラブOB会

桜球会（野球部OB会）

3月6日に桜球会理事会を開催し、「選手激励会の支援」（硬式ボール24ダースの寄付）、「監督・コーチの援助」等が話し合われました。

また、桜球会で発刊した『桜球―青春の記録』では野球部創立からの歴史を綴った記念誌の発刊で話が盛り上がりました。7月6日には親睦ゴルフ大会（八幡平CC）も開催され、7月27日には中屋敷監督を招き、夏の大会の反省会と激励会を兼ねて報告していただきました。

今後も随時、報告会を開催しながら選手達を応援していきたいと思います。

柔桜会

佐藤正俊先生（新14回）退職慰労会

平成16年3月27日5時30分より三寿司菜園本店において午後5時30分より。連絡発送120通、参加者43名。企画立案の司会者、沢田邦夫（新14回）、会長東根（旧12回）、副会長大志田武（旧12回）、同赤坂祐三（旧13回前会長赤坂俊夫氏の弟）、下河原善嗣郎（新5回）、主賓佐藤正俊、閉会は佐々木敦（新7回）がそれぞれ挨拶乾杯をする。

先生に記念品目録贈呈、出席者全員写真撮影、赤坂俊夫前会長含み、全「柔桜会」物故者のご冥福を祈り黙禱をささげる。

敗戦後の混乱期に、率先して母校「柔桜会」の基盤を作った功労者、佐藤幸郎（旧14回）氏の弟正俊先生は、ペネズエラ国で柔道を指導普及。帰国後、25年間の教員生活を無事終え母校の柔道指導監督者として一途に尽力。悉無く今日の岩手中・高等学校柔道部を育成された手腕は、先刻御承知の通りである。

なお、正俊先生は、全く多用繁忙な身にもかかわらず旧1回生より新56回生までの「柔桜会」の名簿を二年がかりにて完成した努力に敬意を表します。

因みに名簿には、佐藤正俊先生の後任者に顧問として松田圭二教諭となっています。慰労会の馳走を前にしての総会は不可なりと判断。故に、規約の逐条審議は次回にと余儀無い事情と相成った次第で、ご寛恕頂き次回の総会にはよろしくご検討の程を願望致します。

（東根清蔵・旧12回）

卓球部OB会

卓球部OB会の近況

近年の卓球部球友会の集まりは、年2回が恒例になっております。1月早々の新年会と8月中旬の納涼会兼還暦者のお祝いの会です。いつも20名程度の参加者ですが、和やかな楽しい会になります。男にとって友人、仲間は年々少なくなるのが一般的ですから、高校時代に一緒に汗を流し、同じ釜の飯を食べた仲間は貴重です。

老後のため5つのたくわえは、1健康　2友人、仲間　3趣味　4知識　5少々のお金だそうですが、いつも球友会に参加するたびに、このことが、全てそろっていることを確認できてうれしくなります。

私は岩手高校を昭和43年に卒業して早いもので36年になります。人生は夢、幻といいますが、今でも仲間と一緒にインターハイに出場し、精一杯戦っている場面を夢に見たり、また昨日のように思い出します。それもこれも岩手高校という歴史ある学校で、先生方、諸先輩、同僚、後輩の皆様のお陰と感謝の念で一杯です。今後も岩手高校の卒業生としての、誇りと自信を持って日常の業務にまい進し、大いに社会貢献をしたいと思っております。

（写真は6月12日、ホテル東日本の会場で藤倉、上野、伊藤3君の還暦を祝って）

（松村　諭・新20回）

桜バレーボール会

今年も総会を母校で開催

伝統ある岩手中・高校バレーボール部（排球部）のOBで組織する「石桜バレーボール会」（会長・廣田匡克、新7回）の第6回総会は、平成16年8月28日(土)に開催した。今年も卒業して以来、母校を訪問したことがないOBのため、当時の面影を残す講堂や、新しい学び舎の観察・現役の激励などのため、母校で開催したものである。なお、7月24日(土)には役員会を開催し、総会提出案件を審議した。

◎総会には13名が出席、総会に先立ち、物故者41名の冥福を祈り、黙禱をささげた。

◎報告事項で「石桜バレーボール会の活動状況」・「現役バレーボール部の活動状況（戦績・戦評）」・「会費・寄付金の拠出状況」・「新会員の紹介」を報告し了承された。

◎総会の議長に小岩頌児氏（旧17回）を選出し議事を進行、議決事項では、「会費の決算（平成14年7月1日～15年6月30日）」・「平成16年度活動計画」が上程、審議され原案どおり承認された。また、「会費の徴収」も原案通り承認され、さらに役員の改選では、あらたに新47回生の「榊原康二」と新52回生の「三浦一樹」両名を幹事に追加し、役員候補全員が原案通り承認された。

◎意見・提案として「現役のレベルアップ」の対策や、基金造成と前年度提言の「強化費」から、現役の試合用ユニホームの12着寄贈が計画に盛られ、16年度中に実施されることになった。

◎総会終了後は会場をホテル東日本に移し、「懇親会」を開催した。和気あいあいに、現役時代のバレーボール談に花が咲き、来年の再会を約束し閉会となった。

現役にアドバイス

中学校での経験者を3人、現役での中学校経験者2人で180センチクラス2人含む計10人が今年のチーム編成となった。

今後は専属コーチのもと、原点の意識を統一し、来春の高総体盛岡地区予選突破を最大の目標とし、パス・レシーブ・アタック・サーブを要素とする基礎練習を、冬期間にやり抜く石桜精神力の発揮が肝要である。基礎的な瞬発力・ジャンプ力の養成は緊急の課題で、コツコツと地道な練習に耐え抜けば明るい展望がある。

（事務局長　斉藤裕夫・新11回）

同期会

新15回生の同期会は還暦記念で盛大に

昭和38年卒の新15回生同期会は8月14日(土)盛岡市愛宕下の盛岡グランドホテルで開催、46名のほか来賓として菊地治雄校長、村上照五郎同窓会長、西在家寛元校長、元教職員の足沢至先生、鈴木勝彦先生、松尾良一先生等も招かれた。

新15回生還暦記念同期会

新2回同期会

6月11日(金)新2回学年会は盛岡市つなぎ温泉清温荘で開催、来賓として村上照五郎同窓会長と井藤博旧教職員が参会した。

平成15年度　クラブ強化育成基金　決算書

収入の部

項目	決算額(円)	備考
繰越金	4,459,858	
利息	34	
返戻金	400,000	生徒会CD売り上げから400,000（残債500,000）
合計	4,859,892	

支出の部

項目	決算額(円)	備考
教育後援会補助	800,000	
部活動褒賞	106,925	褒賞金、賞状、表彰楯
合計	906,925	

繰越金　3,952,967円

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷　忠　正
材木町信用金庫向　TEL(622)7457

校歌・応援歌のCD販売中
販売価格――1枚二千円（税込）

三年前の10月に待望のCDが完成し、理事会や総会の折は受付で校歌応援歌が流され、石桜同窓会の雰囲気がさらに意気高揚しております。

また、ジャケットも桜の季節の校舎・石割桜と大変良くできております。

各支部総会や、クラブのOB会・クラス会などでCDを流したり、販売もしております。どんな集まりでもご用意いたしますので、必要枚数を事務局までご連絡下さい。（残部はお返し頂いて結構です）

石桜会ゴルフ大会盛大に

平成16年8月29日(日)に岩手ゴルフ倶楽部において、第14回石桜同窓会ゴルフコンペが開催されました。

昭和20年に卒業された金澤源一大先輩をはじめ、各年代より総勢45名の参加となり懐かしい旧友との再会で楽しい一日を過ごしました。表彰式の後は、全員で校歌を合唱し、来年の再会を約束しました。

同窓生の皆さん、毎年8月最後の日曜日、来年は8月28日になります。多数の参加をお待ちしております。

(幹事　吉田正夫・新19回)

岩手中・高校旧職員会開催

10月7日旧職員会が久方ぶりに盛岡市本町「きのえね支店」で開催された。

参加者は18名、最長老は遠藤貫中先生であった。

五日市享児氏(新11回)〝我がスポーツ人生50年〟と題して講演

神奈川大学校友会岩手支部主催の講演会で

去る11月20日(土)盛岡市中央通1丁目のエスポワールいわて2Fで新11回卒の五日市享児氏が講演した。同氏は岩手町出身、岩手高校卒業後日本体育大学を卒業、同大学で助手のあと神奈川大学専任講師、助教授を経て現在外国語学部教授、同大学学生生活支援部長、アジア体操連合事務総長、町田市体育施設運営協議会会長である。

今回の講演会は神奈川大学校友会岩手支部幹事長の宮澤俊次氏(新21回生)等のお世話で実現した。

母校ホームページ開設中

インターネットによる岩手高校のホームページが開設されております。今後も様々な情報を紹介してまいりますのでご期待ください。

アドレス　http://www.iwate-jh.ed.jp/

斎藤　昭氏(旧17回)　志和健吉氏(新2回)が文部科学大臣より表彰

岩手県久慈市で内科医を開業の斎藤昭氏と、盛岡市で眼科医を開業の志和健吉氏はそれぞれ永年の学校医としての功績により文部科学大臣より、この秋の表彰を受けた。

平成16年度　クラブ活動成績

陸上部
第56回岩手県高等学校総合体育大会盛岡地区予選大会出場
平成16年度春季期陸上大会出場
第56回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技出場
平成16年度岩手県陸上競技選手権大会出場
第56回岩手県民体育大会陸上競技出場
平成16年度岩手県高等学校新人大会出場

ソフトテニス部
第56回市民体育大会ソフトテニス競技大会出場
第3回東日本研修大会出場
第56回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会　団体ベスト8　個人　中村・杉田組　個人ベスト16
平成16年度ヨネックスカップ八戸大会出場
第56回岩手県民体育大会ソフトテニス競技出場　第3位田村昇也・小野寺和哉組
第11回上小阿仁村長杯ハイスクールカミコアニソフトテニス2004出場
第9回いわきフェスタ2004出場
第49回岩手県新人ソフトテニス大会盛岡地区予選会出場　県大会ベスト8シード権獲得
第4回レインボードリームクラブ東日本研修大会出場
平成16年度北東北・北海道4道県ソフトテニス大会出場

バスケットボール部
第56回岩手県高等学校総合体育大会バスケット競技盛岡地区予選大会出場　予選通過
第56回岩手県高等学校総合体育大会バスケット競技出場　岩手県ベスト8
第56回岩手県民体育大会バスケットボール競技岩手県ベスト8

バレーボール部
第56回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技盛岡地区予選大会出場
第4回岩手県私立高等学校男子・女子バレーボール選手権大会出場
第56回岩手県民体育大会バレーボール競技盛岡地区予選会出場

ハンドボール部
第56回岩手県高等学校総合体育大会ハンドボール競技出場
第56回岩手県民体育大会ハンドボール競技出場

ラグビー部
第56回市民体育大会ラグビー競技出場
第56回岩手県高等学校総合体育大会ラグビー競技出場　Bブロック残留
第56回岩手県民体育大会ラグビーフットボール競技出場
第84回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会出場

柔道部
第56回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場
第56回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技出場団体ベスト8　個人　100kg超級第3位小笠原大輔(東北大会出場権獲得)
第54回東北高等学校柔道大会出場　ベスト16　小笠原大輔
第56回岩手県民体育大会柔道競技　軽中量級ベスト8中村彰圭　無差別級ベスト8小笠原大輔

剣道部
第56回盛岡市民体育大会剣道競技出場
第56回岩手県高等学校総合体育大会出場
第56回岩手県民体育大会剣道競技出場

卓球部
第56回岩手県民体育大会卓球競技盛岡地区予選大会出場

山岳部
東北ブロックジュニアクライミングコンペ出場　第8位中嶋、工藤　第12位田口　第14位川村
ビギナーの部　第1位近藤　第2位小野寺
第56回岩手県高等学校総合体育大会登山競技団体第4位
第56回岩手県民体育大会山岳競技　クライミング　Aチーム第1位　Bチーム第6位　Cチーム第10位
縦走　Aチーム第2位　Bチーム第7位　Cチーム第12位
JOCジュニアオリンピック富山大会出場
東北総合体育大会山岳競技　少年男子　総合第3位

テニス部
平成15年度東北私立高等学校テニス大会　団体優勝
トヨタジュニアテニストーナメント2004出場　谷地彬人
第56回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技盛岡地区予選(平成16年度盛岡市民体育大会)
男子シングルス　優勝川崎龍一郎　準優勝谷地彬人　第3位石田孝啓　ベスト8阿部蘭、上打田内康太　ベスト16澤藤亮輔、高橋大樹
男子ダブルス　優勝石田孝啓・谷地彬人　第3位　川崎龍一郎・澤藤亮輔　ベスト8遠山肇・上打田内康太
第25回岩手県ジュニアテニス選手権大会
18歳以下男子シングルス　優勝川崎龍一郎　準優勝石田孝啓　ベスト8澤藤亮輔　ベスト16阿部蘭
18歳以下男子ダブルス　優勝石田孝啓・阿部蘭　第3位川崎龍一郎・澤藤亮輔
16歳以下男子シングルス　優勝谷地彬人　ベスト8岩崎新也、上打田内康太、工藤将、高橋圭滋　ベスト16布台州、谷村嘉也、鎌田知希
16歳以下男子ダブルス　優勝谷地彬人・高橋圭滋　第3位上打田内康太・工藤将　ベスト8布台州・岩崎新也、谷村嘉也・鎌田知希
14歳以下男子シングルス　優勝戸井口一矢　ベスト8戸井口拓矢
14歳以下男子ダブルス　優勝戸井口一矢・伊勢谷夏樹(北松園中)
第22回岩手県A級シングルストーナメント　準優勝谷地彬人　ベスト8川崎龍一郎

第56回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技
団体優勝(東北大会・インターハイ出場権獲得)
男子シングルス　優勝　川崎龍一郎　準優勝谷地彬人　第3位石田孝啓(東北大会・インターハイ出場権獲得)
男子ダブルス　優勝　石田孝啓・谷地彬人組　準優勝　川崎龍一郎・澤藤亮輔組(東北大会・インターハイ出場権獲得)
第45回東北高等学校テニス選手権大会　団体第3位
シングルス優勝　川崎龍一郎　ダブルス優勝　石田孝啓・谷地彬人組　準優勝川崎龍一郎・澤藤亮輔組
第56回岩手県民体育大会テニス競技
少年男子シングルス　優勝川崎龍一郎　準優勝谷地彬人　第3位石田孝啓
少年男子ダブルス　優勝川崎龍一郎・谷地彬人組　準優勝石田孝啓・阿部蘭組　第3位澤藤亮輔・上打田内康太組
第26回東北ジュニアテニス選手権大会出場
第23回岩手県中学生テニス選手権大会　団体　準優勝
シングルス　第3位　岩崎新也　ベスト8　工藤将、布台州、高橋圭滋、戸井口一矢
ダブルス　準優勝　布台州・高橋圭滋組　第3位　工藤将・岩崎新也組
第26回東北中学生テニス選手権大会出場　団体第3位
個人　シングルス　ベスト8　工藤将
ダブルス　第3位　布台州・高橋圭滋組
全日本ジュニアテニス選手権大会2004　出場
第61回全国高等学校テニス選手権大会　団体ベスト16
第21回岩手県高等学校1年生テニス選手権大会　シングルス　準優勝　阿部純　ベスト8及川倫宏
ダブルス　準優勝　阿部純・佐藤直行組
第3位　高橋祐貴・桐山拓組

水泳部
第56回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技出場
200m個人メドレー第4位、100mバタフライ第2位　水野大介
平成16年度岩手県民体育大会水泳競技出場　個人メドレー少年A　第3位
平成16年度東北水泳大会出場

サッカークラブ
第56回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技盛岡地区予選大会出場
第56回岩手県民体育大会サッカー競技出場
第83回高等学校サッカー選手権岩手県大会出場

スキー部
第28回岩手県中学校スキーアルペン競技記録会出場　SL第9位GSL第13位近藤　小野寺SL第48位
月山GSスキー競技会　高校男子　第19位田口　第27位工藤　第28位高橋
中学男子　第7位小野寺　第1位近藤
全日本スキー連盟公認蔵王ライザSL大会　近藤竜紀63位、123位　小野寺貴憲85位、71位

硬式野球部
平成16年度高校野球春季盛岡地区予選大会出場
平成16年度全国高等学校野球選手権岩手県大会出場

将棋部
日本将棋連盟主催第7回学生将棋選手権　団体総合19位(高校の部4位)
第1回盛岡地区高等学校将棋順位戦出場
第26回岩手県高等学校文化連盟将棋大会　男子団体優勝(2年連続4回目)(全国大会出場権獲得)
男子個人戦　準優勝　澤口竜一　B級第4位川村一馬
第28回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会　男子団体　ベスト8
男子個人戦優勝　浦辺賢太郎(全国大会出場権獲得)
第15回大山十五世名人杯将棋大会出場
第40回全国高等学校文化連盟将棋選手権大会　将棋　団体ベスト16
囲碁　個人戦出場
岩手県高等学校文化連盟高校囲碁級別大会出場
全国中学生選抜将棋選手権大会出場
第28回全国高校囲碁選手権出場
東北学生囲碁十傑戦出場
第17回全国高等学校将棋竜王戦岩手県大会　優勝　澤口竜一　ベスト8松岡涼太　佐々木裕太郎
第17回全国高等学校将棋竜王戦　ベスト8　澤口竜一
第19回全国オール学生将棋選手権出場　総合26位(高校5位)
岩手県高等学校文化連盟盛岡支部高校将棋順位戦出場
第15回国際アマチュアペア囲碁選手権東北大会出場

化学部
盛岡市立こども科学館祭りサイエンスラボ運営参加

吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール岩手県大会　金賞　東北大会出場権獲得
全日本吹奏楽コンクール東北大会　金賞　東日本大会出場権獲得
マーチングフェスティバル岩手県北大会出場

平成17年度　岩手高等学校入試予定一覧

試験の種類		出願資格　条件	出願期間	試験日	試験科目	発表	入学手続き
特別進学コース 併願可	学力試験	有名私立大・国・公立大 に進学を希望する生徒※	1月13日(木)～14日(金)	1月17日(月)	国語・数学・英語	1月20日(木)	(一次) 1月21日(金)～1月27日(木) (二次) 3月17日(木)～3月23日(水)
	推薦	上記と同じ生徒で中学3年次の評定平均が3.8以上の者			調査書・推薦書		
一般コース	専願	本校第一志望に合格後は本校入学が確約できる生徒	1月21日(金)～25日(火)	1月28日(金)	国・社・数・理・英の5教科から3教科の選択 調査書・面接	2月3日(木)	専願と併願(一次) 2月4日(金)～2月10日(木) 併願(二次) 3月17日(木)～3月23日(水)
	併願	他校受験可			国語・社会・数学・理科・英語		
クラブ推薦		県大会規模で顕著な成績を収めた生徒、またはそれに匹敵する優れた能力を有する生徒 本校各部顧問が勧誘した生徒	1月13日(木)～14日(金)	1月17日(月)	調査書・推薦書 面接	1月20日(木)	1月21日(金)～1月27日(木)
二期試験		上記の全てのコースでの不合格者の再受験は認めない 募集人員　5名	3月22日(火)～23日(水)	3月24日(木)	調査書・作文 面接	3月25日(金)	3月28日(月)～3月29日(火)

※特進入試の学力試験において、選考の結果不合格となった者のうち、上位の者には一般コース(併願)の合格者として通知する場合がある。

■主な合格大学及び進路先(最近5ヵ年の状況)

大学、短大合格者は卒業生を含む

大学名＼年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
〔国・公立大学〕					
北海道大	0	0	0	1	0
弘前大	2	1	0	0	0
岩手大	5	6	9	5	4
秋田大	1	0	0	2	0
福島大	1	1	2	0	0
山形大	0	0	2	0	0
茨城大	0	1	0	0	0
筑波大	0	1	0	0	0
横浜国立大	0	1	0	0	0
静岡大	0	0	0	1	0
岩手県立大	3	7	1	0	2
東京都立大	1	0	0	0	0
その他	1	3	5	2	0
合計	14	21	19	11	6
〔私立大学〕					
札幌大	0	3	3	0	0
札幌学院大	1	3	1	1	0
北海道工業大	4	2	0	0	0
函館大	0	1	0	0	0
青森大	5	2	6	3	6
八戸工業大	8	6	3	6	3

大学名＼年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
岩手医科大	2	4	3	6	2
盛岡大	4	8	9	13	5
富士大	5	6	2	8	4
東北学院大	14	13	16	11	5
東北工業大	11	7	3	5	4
東北福祉大	2	0	2	2	1
東北薬科大	1	0	0	0	0
石巻専修大	1	6	0	2	2
秋田経済法科大	7	6	6	6	3
いわき明星大	2	0	2	1	0
千葉商科大	1	1	1	1	2
青山学院大	0	3	1	1	0
亜細亜大	1	0	0	0	1
学習院大	0	1	0	0	0
北里大	2	2	0	0	0
専修大	0	1	0	1	0
国学院大	2	0	0	0	0
工学院大	0	1	1	1	0
成城大	0	0	0	1	0
二松学舎大	0	1	0	2	0
国士館大	4	1	4	0	0
駒澤大	1	1	0	2	1

大学名＼年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
大東文化大	0	1	1	2	2
拓殖大	1	1	2	2	0
中央大	1	0	0	1	0
帝京大	4	4	2	5	3
東海大	2	0	1	1	2
東京理科大	2	1	0	1	0
東京経済大	3	1	3	0	3
東京農業大	3	1	2	1	0
東洋大	3	0	2	2	3
日本大	5	8	9	10	5
法政大	2	1	2	1	1
神奈川大	3	3	5	2	3
関東学院大	3	2	5	0	1
明治大	2	2	0	0	1
早稲田大	1	0	1	0	0
同志社大	3	1	3	4	5
その他	56	40	46	59	48
合計	172	145	147	164	114
短期大学	8	15	14	8	5
専門学校	66	86	75	89	65
就職	11	24	16	19	13

割烹
「こう弥」
盛岡市菜園2の8の36
TEL (623) 2622

特定建設業
Z　株式会社　下河原組
代表取締役会長　下河原善嗣郎(新5回生)
代表取締役社長　下河原　大希(新36回生)
〒020-0403
岩手県盛岡市乙部4地割6番地1
TEL 696-2255(代)
FAX 696-2360

懐石料理とわんこそばの店
初駒(はつこま)
盛岡市八幡町10-21　電話　019-651-7184
(盛岡八幡宮前)

新5回生が石桜フェロー賞団体の部第1号受賞

11月22日、卒業50周年と同期生の古稀を祝う会をつなぎ温泉「大観」で開いた新5回生は、去る10月15日の石桜同窓会16年度総会で議決された同窓会活動と後輩への支援資金賛助会費制度団体の部第一号として金20万円を拠出、代表が村上照五郎同窓会長を訪ねて会の開催に先立って手渡した。

またこの卒業50周年の会を記念して発刊された記念誌も岩手高校に寄贈した。同誌はA4判122ページ、同期生55名が寄稿し、恩師や古稀を迎えた心境や、青春の思い出が綴られている。

永年、ソフトテニス普及に情熱

村上照五郎石桜同窓会長が旭日双光章を叙勲

11月3日秋の叙勲が発表されたが岩手県から行政・教育・産業の各分野の中で、厚生労働省関係として岩手県ソフトテニス連盟会長で東北ソフトテニス連盟副会長でもある、村上照五郎石桜同窓会長が旭日双光章に輝いた。

地域に足取り確か

秋の叙勲

白球追い子弟育て

テニスと勉強の両立をモットーに指導を続けてきた村上照五郎さん

平成16年11月3日　岩手日報

11月3日付の新聞各紙には叙勲の各氏の寸描が紹介された。

村上照五郎会長は岩手大学卒業後、母校の恩師に誘われるまま岩手中・高校に数学教師として一九五四年から42年間勤務しただけに、教え子の数がもっとも多く、同窓生として知らない人はいない。就任の際、同窓会長として最適任の声が上がった。

ラケットはもちろん、ボールもシューズもない時代、足元は裸足のまま、足の裏は靴底のように分厚くなってコートの上を滑るようになったとか。

ソフトテニス部の顧問を努め、教師生活の中で監督として教え子をインターハイに11回送り、少年・成年男子、成年女子の監督を11回努めたという。一九七一年の和歌山団体では一般男子に出場したのは岩手高時代の教え子、そして教え子が打ち立てた全国3位の金字塔は、今も県勢の最高位として破られず輝いている。

ソフトテニスへの情熱は青春時代から半世紀続き、正に半生をテニスに捧げたといっていい。

かつての教え子は父親、母親から指導者になり、共にテニスの普及にそれぞれ励んでくれている。

東北連盟会長や東日本連盟副会長を兼務して、今は挨拶要員みたいなものというが、各地の同窓会にも顔を出し、今なお酒量は落ちない。

年中日焼けした顔は健康そのもの、壮者をしのぐ元気さで、今後とも同窓会をリードしていただきたいものである。

同窓会で祝賀会の話もあったが、他団体との共催で行われることになりそうである。

古稀を迎えて乾杯！

記念誌「玉響（たまゆら）の青春」を刊行

── 新5・岩中22回生同期会 ──

柔道、レスリング、水泳、体操などメダルラッシュで湧いたアテネオリンピック。平和の祭典オリンピックの開催年は、我々同期会の開催年でもある。

この時期としては珍しく小春日和となった11月22日（月）、我々はつなぎ温泉「ホテル大観」（佐藤義正社長、同期生）で、38人が集い古稀祝い同期会を開催した。

全員集合の最後の機会とも思われ、幹事団としては50人の大台を期待したのであったが、体調不良の友が意外に多く残念であった。ただ今回は、記念誌を通しての参加が別に31人もおり、事実上の参加者があわせて69人（全体の約80%）にのぼったことは嬉しい限りである。

ゲストは、中学・高校の6年間担任として直接薫陶をいただいた戸嶋正夫先生の奥様、吉田長作先生、足澤至先生、村上照五郎同窓会長の四氏（図らずも、叙勲の栄に浴された方々である）。遠藤貫中元校長の欠席は残念であったが、記念誌を通してご参加をいただいた。戸嶋先生の奥様のご出席は、記念誌へのご寄稿とともども我々を狂喜させた。東京にお住まいの奥様は、米寿をお迎えの由だが至ってお若くお元気で、又当時、加賀野の寮でお世話になった者も数多く、お席は終始門前市を成し、懐古談義の主役となられた。

会は、午前10時に受付を始め、談笑、記念誌、入浴等くつろぎの時間をたっぷりとって、午後5時半行動開始。中川章神官（同期生）による入念なお祓い（全員の名を読みあげた）を皮切りに、記念写真の撮影、物故者への黙禱を行う。下河原善嗣郎代表幹事の挨拶、来賓の紹介・祝辞、同窓会学年理事報告（来年度の同窓会総会への積極参加を要請—5のつく回生が同懇親会の幹事役となることに鑑み）、小泉事務局長の会務報告と進行。なお、席上村上同窓会長から当同期会に対し、新設の石桜同窓会賛助会費制度に基づく石桜フェロー賞（団体賞第1号）の授与があり、これを受賞した。また、40年の長きにわたり事務局長として会を支えてくれた小泉仁左衛門君の労をねぎらい、セレモニーを終了。早々に校歌を斉唱し、金沢伸行君の発声で乾杯、ようやく祝宴に入る。

量より質を重視した大観心づくしのシニア向け高級料理に舌鼓を打ちながら、話に花を咲かせること2時間半余。石川富喜蔵治君の力強い一本締めでお開きとし、二次会場、カラオケ会場へと流れる。翌23日は、勤労感謝の日。快晴。ゴルフ組は早々に出発、他も三三五五思い思いに。元気での再会を約して散会した。

記念誌「玉響の青春」は、「われらの時代」（中・高6年間の軌跡を年表や資料、写真等で示したもの）と「古稀を迎えて」（心境、近況、思い出等をつづったもの）をメインにして編さんしたもの。又、表題の「玉響」は、いくつかの玉が触れ合うように、友と切礎琢磨して生きた日々を表す言葉として万葉集から引用したものである。この記念誌の刊行が、図らずも同期会開催当日の岩手日報朝刊で取り上げられ、大きく報道されたことは余りにもグッドタイミングであり、郷土紙の粋な計らいに感心しながらも嬉しいハプニングとなった。この記念誌を石桜図書館にてご覧いただければ幸いである。終りに、この記念誌の作成にあたり多大なご協力をいただいた吉田印刷(株)(吉田勉会長、同期生)のスタッフに、心から感謝申し上げたい。

（学年理事　村上　昇）

記念誌を母校に進呈

一本の古いテープから

生内義夫先生の作品の復元について・続報

新5回　畑谷　守良

石桜同窓会報28号に拙稿が掲載されて間もなく、色々な方々から関係する新たな資料や情報の提供を頂くことになりました。

その資料の一つひとつからは、敗戦後の物資の乏しい時代によくぞと思われるほどの文化の香り豊かなものが感じとられ、半世紀の時空を超えながら、生内先生をはじめとする当時の青春群像の情熱が今に伝わることの感動を覚えます。

井藤博氏（新2回生）からは「岩手山」「北上川」「岩手青年の歌」「ふるさとの」などの楽譜の提供がありました。そのうち「北上川」は生内先生直筆のガリ版プリントで、半世紀以上も前の現物を目の前にして、よくぞ保存されていたことかと感慨一入でした。また「岩手山」の楽譜は前奏、間奏、終奏それに伴奏譜付のもので、それを基に演奏されたCDRを聴いて、その出来栄えの余りの見事さに只々驚きました。国立音大の演奏会で発表された曲は後で書き改められたらしく平易な表現になっています。

永沢和久氏（新4回生）からは「北上川」「三陸海岸」「平和」そして小品「おぼろ夜の」の楽譜の提供がありました。これらは、当時のガリ版印刷のものをパソコンで打ち直し、しかも四部合唱用に見易く歌い易くしたものです。

山口晶子さん（盛岡高校／現盛岡二高卒／合唱団所属／旧17回生山口忠氏令夫人）からは第1回生内義夫作品発表会（昭和24年12月28日：県公会堂）のプログラムと同会参加者全員の記念写真のご恵贈がありました。また、山口さんを通じて盛岡高時代の合唱団員を紹介され、その方々から岩手フィルハーモニックソサエティ結成時、練習時のお話や私共の調査事項の不備な点をご指摘頂きました。

金田一隆氏（新4回生）は交声曲三部作の練習時のマネージャー役としても活躍され、各教室に「本日合唱練習あり、パート毎に集合」など、連絡事項を板書して歩いたとのお話もありました。

完成したCDRにおける交声曲4曲のうち「岩手山」は完全なものですが、その他は伴奏部分やソロパートが欠落していたりと不完全なものです。「北上川」については、伴奏部分が充分とはいえず、今後の楽譜捜しや採譜にその成果を期待する他ありません。

以上、既報を含めてほぼ1年がかりの資料収集になりましたが、これら貴重な資料（楽譜等）を基に、佐川隆二氏（新6回生）がPCによるCDR収録化を担われました。今回のこの収録により、生内義夫先生作品集として当時の関係者の手にわたり、「大変懐かしい」「嬉しい」「ご苦労さま」など感謝の言葉を頂き、少しでもお役に立てたかと喜んでおります。

◆　◆

ある日偶然出逢った一本の古いテープから、このように大きな波紋が広がり、多くの人々の縁の糸がつながるとは、当初予想だにできませんでした。あらためて生内先生や水原先生、そして岩手フィルハーモニックソサエティを支えた方々の功績を想います。

年月と共に薄れゆく記憶や資料の喪失を少しでもカバーしたいと、私的な願いをこめて、小さなプロジェクトを組みました。幸いなことに徐々に確実に資料が集まり、そのたびにチームの仲間と喜びを分かち合うことが出来ました。

今、あらためまして「生内義夫先生の作品の復元」企画にご賛同とご協力下さった皆様に紙上を借りて心から感謝御礼申し上げます。また特にプロジェクトの要として3部作他のCDR製作にご尽力頂いた佐川隆二氏と企画当初よりご助力下さった横田英司氏（新11回生）に厚く御礼申し上げる次第です。

追記：生内先生の作品約10点はCDR化し、楽譜と共に母校に保存しております。

■事務局より

会報発行にあたり、同窓会の先輩の方々から熱き心あふれる原稿をいただき大変感謝申し上げます。同窓会の折には参加人数、写真1点等、お送り下されば幸いです。先輩の方々におかれましては今後もご健勝にて、益々活躍され、後輩生徒のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

大小御宴会・御商談等に
御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 622-9346

メンズファッション＆スクールウェア
㈱ 佐藤被服
本　社　盛岡市肴町　TEL ㈹(624)3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター
TEL ㈹(637)2661

肉のデパート
丸岩
盛岡市上田一丁目7の11　TEL(624)6565